

マレーシアにおける油濁対策の期待と現実



キャプテン・チン・コン・ウイン
オペレーション&トレーニング・マネージャー
マレーシア石油産業油濁相互援助機構
(PIMMAG)

序文

マレーシアは以下の恩恵に浴している国である

4800kmにわたる自然のままの海岸線

繊細な生態系

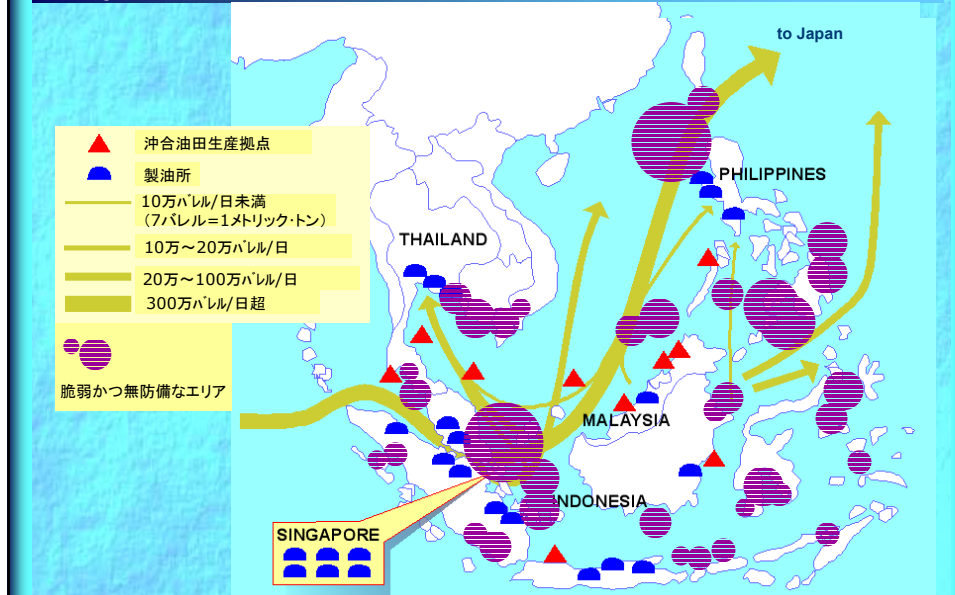
- マングローブの沼地 - 640 km
- 豊かな漁場
- 恵まれた珊瑚礁とその他海洋生物が棲む270を超える島々
- 観光&海運業

しかし、そこには
脅威も
存在しているの
です...





NOSCP(国家油流出緊急時対応計画)は環境保護を目的に、マレーシアの排他的経済水域内での油流出事故に対応するため油濁防除資機材の備蓄の推進を制定したものである



マレーシアの油流出管理における国際的責務

- 1973年の船舶による汚染の防止のための国際条約に関する1978年の議定書 (MARPOL 73/78条約)
- 1990年の油汚染に係る準備、対応及び協力に関する国際条約 (OPRC条約)
- 1992年民事責任条約・油濁補償基金条約

マレーシアの油濁対策における地域協力

- マラッカ・シンガポール海峡での共同油濁防除チームの設置 - 1981
 - マレーシア、インドネシア、シンガポール
- ロンボク・マカッサル オイルネットワーク対応計画 - 1987
 - マレーシア、インドネシア、フィリピン
- マレーシア・ブルネイダルサラームにおける地域協力 - 1993
 - マレーシア、ブルネイ
- アセアン油濁対応行動計画 - 1994
 - アセアン各国

マレーシア油濁事故緊急時対応計画（NOSCP）

NOSCPの目的

- ✓ 組織的な油濁対応システムの確立
- ✓ 利用可能な油濁防除資機材と人的資源の活用強化
- ✓ 油濁事故による環境への悪影響の抑制



マレーシア油濁事故緊急時対応計画 (NOSCP)

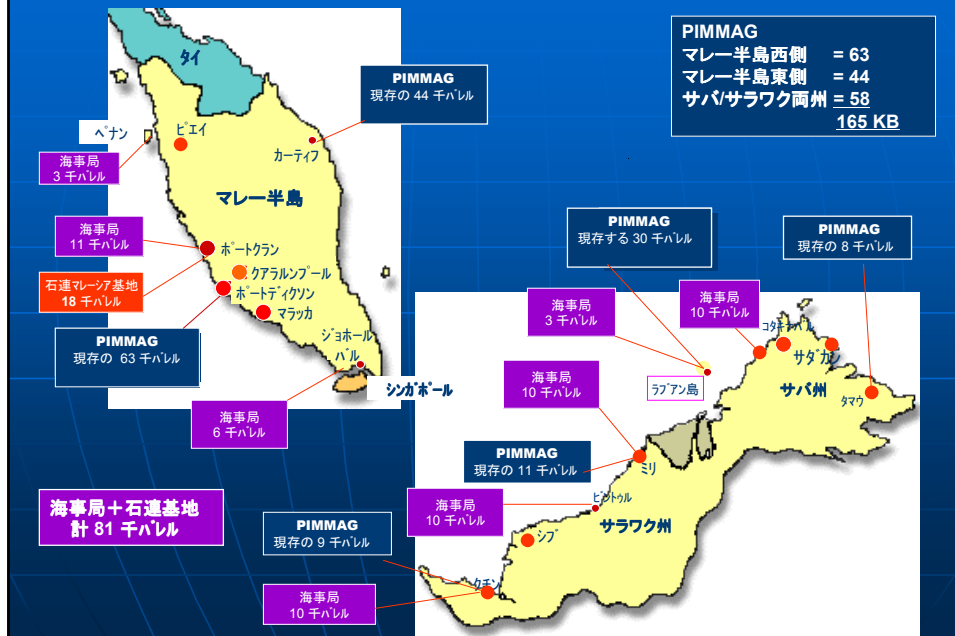
段階別対応

- ✓ **地域レベルでの対応**
港内における小規模な流出、手持ち資機材で対応可能
- ✓ **国レベルでの対応**
地域レベルでの対応能力を超えるような油流出
- ✓ **当該国だけでなく周辺国をも含めた対応**
近隣諸国の支援を必要とするような大規模な油流出

マレーシア油濁管理委員会 (NOSCC)メンバー

- | | |
|----------------|------------------------------|
| ● 環境省 | ● 移民局 |
| ● 海上交通局 | ● 外務省 |
| ● 水産局 | ● 国家防衛庁 |
| ● 気象局 | ● 海上保安庁 |
| ● マレーシア海軍 | ● マレーシア国営石油 (PETRONAS) |
| ● マレーシア空軍 | ● マレーシア石油産業油濁相互援助機構 (PIMMAG) |
| ● マレーシア国家警察 | ● 消防局 |
| ● マレーシア国家警察航空隊 | |
| ● 税関 | |

マレーシアにおけるPIMMAG・石油連盟・海事局の油濁対応能力





PIMMAG ポートディクソン基地

PIMMAG & 石油連盟



石油連盟マレーシア基地(ポートクラン)



海事局 ポートディクソン基地

海事局 油濁防除資機材基地



海事局 ミリ基地



海事局 油濁防除訓練

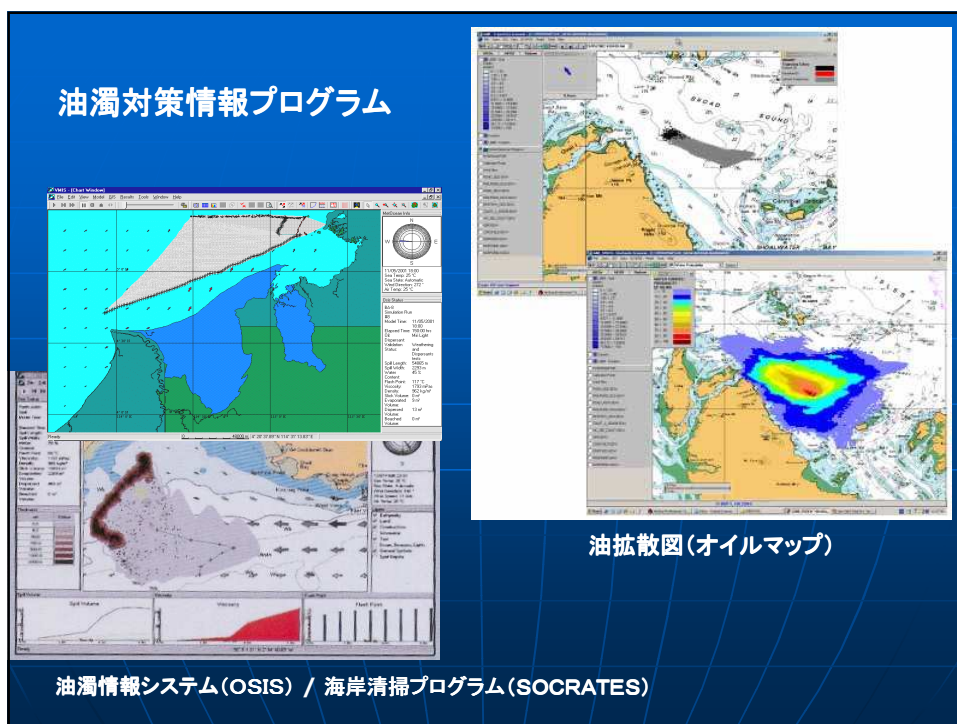


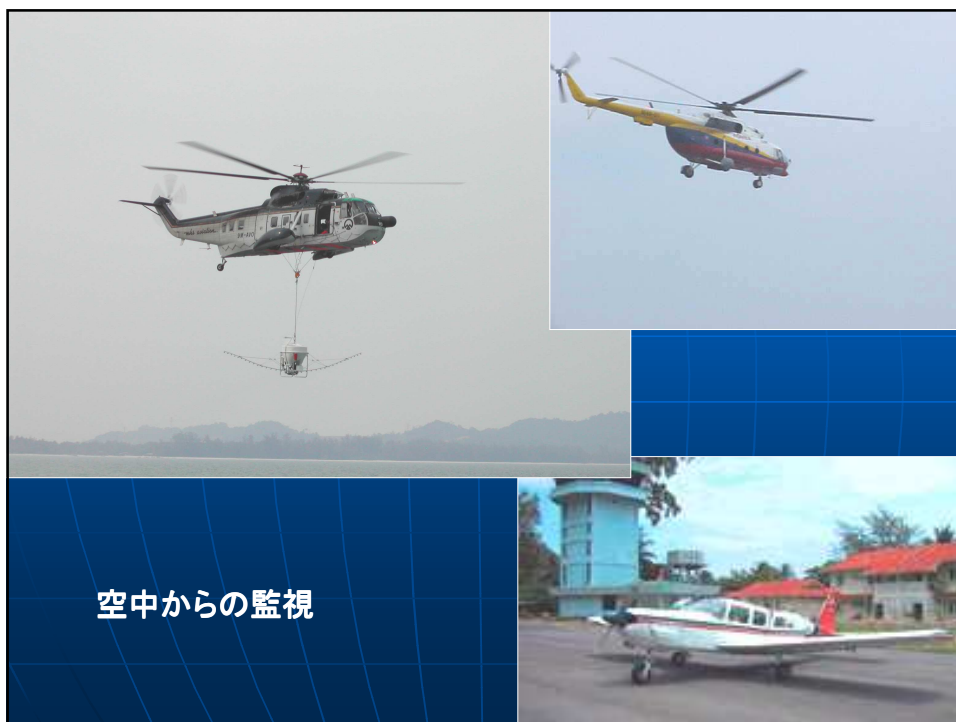
PIMMAG オイルフェンス展張訓練 2005年11月



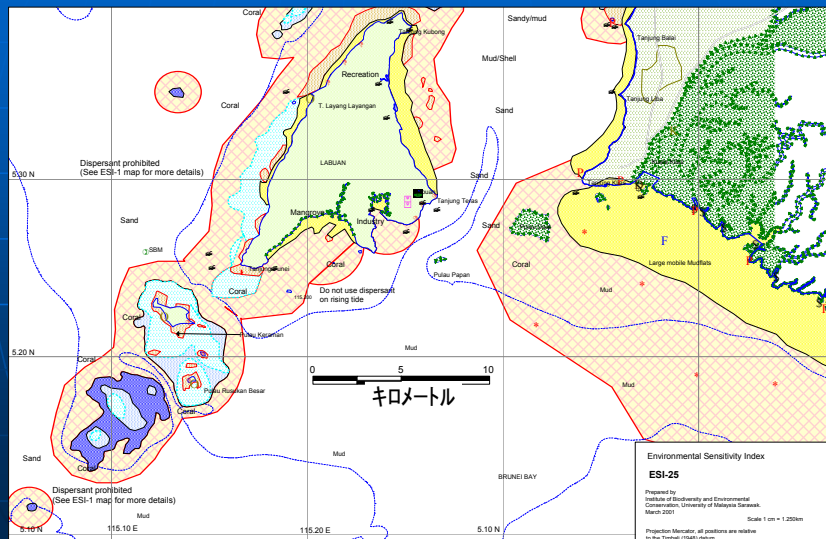
回転資金活用委員会による油濁防除訓練 2005年7月

油濁防除訓練





油処理剤の使用においてはDOE(環境局)の承認が必要。
 1974年環境法に違反した場合には、500,000 RM (約1,500万円)
 以下の罰金または5年以下の懲役、もしくはその両方に処される。



人的資源



油回收作業



廃棄物処理

廃棄物処理の流れ；

1. 油と水
2. 油と有機ごみ（例：木葉、丸太等）
3. 油と無機物（例：吸着オイルフェンス）
4. 油、小石、その他土砂粒子（例：油分の混じった砂）
5. 油で汚れた個人保護装備



油清掃後

油濁事故発災関係者は下記レポートの提出が義務付けられる；

- 油濁防除作業工程
- 廃棄物処理
- 環境被害影響評価
- 油流出による汚染の軽減効果
- 定期的なモニタリングの実施
- 損害賠償請求と補償
- 油流出の原因
- 事故再発防止策



P·R·E·P·A·R·A·T·I·O·N

日頃からの準備



もしあなたに一日中、木を切り倒す日があるのなら
半日は自分の斧の手入れをして過ごそう